

内容評価細目の第三者評価結果 【障害者・児福祉サービス版】

A-1 利用者の尊重と権利擁護

		第三者評価結果
A-1-(1) 自己決定の尊重		
1	A-1-(1)-① 利用者の自己決定を尊重した個別支援と取組を行っている。	a
<コメント> 利用者一人ひとりの希望を聴き取り、外出したいなどの希望には有償ヘルパーや福祉タクシーなどを利用して実施し個別支援計画に反映させている。衣類は本人の好きな物を選んだり、居室では好きな番組を観るなど自己決定を尊重した支援に努めている。		
A-1-(2) 権利侵害の防止等		
2	A-1-(2)-① 利用者の権利侵害の防止等に関する取組が徹底されている。	a
<コメント> 職員はモニタリング時やケア会議、また権利擁護委員会・虐待防止委員会の中で確認を行い、権利侵害がないよう周知・徹底を図っている。止むをえず一時的に実施する場合は時間と状況を記録して家族等に説明し同意を得ている。		

A-2 生活支援

		第三者評価結果
A-2-(1) 支援の基本		
3	A-2-(1)-① 利用者の自律・自立生活のための支援を行っている。	b
<コメント> 整容面では自分でできることはしてもらい生活リハビリに繋げ、利用者の残存能力が維持できるよう支援している。整理・整頓・掃除はグループ担当職員と一緒にするなど見守りと声がけに努め、本人で服薬管理をしている方もいるが職員は再確認を行っている。		
4	A-2-(1)-② 利用者の心身の状況に応じたコミュニケーション手段の確保と必要な支援を行っている。	b
<コメント> 支援の中で意思疎通を図るために工夫を行い、必要な利用者にはコミュニケーションボードを活用しての指差しや言葉に表せない方は仕草や表情から何を望んでいるかを汲み取っている。さらに意思を確認することが困難な利用者は居室でゆっくり時間をかけて聴き取り、意向を確認している。		
5	A-2-(1)-③ 利用者の意思を尊重する支援としての相談等を適切に行っている。	b
<コメント> 利用者からの相談はモニタリング時や職員に話せる場を設け、担当職員が聴き取りをしている。相談内容については直ぐに返答できるものはその場で伝え、医療面は看護師、食事面は管理栄養士に相談し、支援計画に反映させる場合はサービス管理責任者に報告し多職種協働で共有を図り、より良い支援に繋げている。		
6	A-2-(1)-④ 個別支援計画にもとづく日中活動と利用支援等を行っている。	b
<コメント> 日中活動委員会が楽しんでもらえること・したいこと・できることを考慮した月毎のプログラムを作成し、利用者に配布し活動に繋げている。外部講師による茶道・絵画教室や調理・料理サークルなどは月毎に、創作活動・書道・塗り絵などは毎日できて利用者はそれぞれ好きなものに参加している。個別支援計画の中にも組み込まれて評価・見直しを行っている。		
7	A-2-(1)-⑤ 利用者の障害の状況に応じた適切な支援を行っている。	b
<コメント> 居室・食席の割り振りは年度毎に職員が話し合っ決定している。医療的ケアが必要な利用者には医務室の近くにするなどの配慮し、ADL(日常生活動作)・入院・退院などの変化があったときは随時関係職種による会議を開催して支援方法を話し合っている。		
A-2-(2) 日常的な生活支援		
8	A-2-(2)-① 個別支援計画にもとづく日常的な生活支援を行っている。	b
<コメント> 食事は地産地消の献立を多く取り入れ療養食・食事形態・代替食にも対応して健康管理に努め、バイキングや選択メニューは利用者も楽しみにしており、美味しいと満足の声が聞かれる。入浴・排泄支援は個別支援計画にもとづき、プライバシーに配慮し利用者一人ひとりの心身の状況に応じて快適に過ごせるよう取組んでいる。		

内容評価細目の第三者評価結果 【障害者・児福祉サービス版】

A-2-(3) 生活環境			
9	A-2-(3)-①	利用者の快適性と安心・安全に配慮した生活環境が確保されている。	b
<コメント> 年度毎に行われる居室・食席の変更は本人の希望を参考にし、身体状況や利用者同士の関係を考慮して職員で話し合って実施している。浴室は機械・中間・普通の3種類の浴槽をリニューアルして、利用者はより快適・安全に入浴できるようになっている。			
A-2-(4) 機能訓練・生活訓練			
10	A-2-(4)-①	利用者の心身の状況に応じた機能訓練・生活訓練を行っている。	b
<コメント> 機能訓練・生活訓練は医師の指示を得て理学療法士によるリハビリテーション実施計画にもとづいて行われている。利用者は週2回機能回復訓練室に通い、理学療法士と信頼関係を築き意欲的に取組、機能向上に繋がっている。			
A-2-(5) 健康管理・医療的な支援			
11	A-2-(5)-①	利用者の健康状態の把握と体調変化時の迅速な対応等を適切に行っている。	b
<コメント> 利用者の健康管理は、毎日の検温や顔色や動きをみて早目の気づきが得られるよう取組み共有している。体調変化時はマニュアルに沿って医師の指示を得て対応している。			
12	A-2-(5)-②	医療的な支援が適切な手順と安全管理体制のもとに提供されている。	b
<コメント> 内科医が週2回、整形外科医・精神科医・リハビリ専門医が月2回訪問して、利用者の健康管理に当たり、歯科医は往診して治療を行っている。介護職員による喀痰吸引等の医療行為については研修を受けているがまだ実施していない。薬の管理・配薬は看護師が行い、職員は服薬と再確認をし誤薬防止に繋いでいる。			
A-2-(6) 社会参加、学習支援			
13	A-2-(6)-①	利用者の希望と意向を尊重した社会参加や学習のための支援を行っている。	b
<コメント> 社会参加としてサッカー観戦、映画鑑賞、ショッピングセンターへ買い物などは個別に行われている。家族等との外出など地域社会との繋がりを大事にしているが、一部の利用者にとどまっている。日中活動の中で書道や絵画、音楽など学習に繋がり、情報提供と社会資源の活用を検討したいとしている。			
A-2-(7) 地域生活への移行と地域生活の支援			
14	A-2-(7)-①	利用者の希望と意向を尊重した地域生活への移行や地域生活のための支援を行っている。	c
<コメント> 一昨年一時入所した利用者が在宅に戻った例はあるが、入所年齢が上がっており地域移行は進んでいない。ケア会議で家族等からも意向調査を行い、自立した生活が送れるよう目指している。			
A-2-(8) 家族等との連携・交流と家族支援			
15	A-2-(8)-①	利用者の家族等との連携・交流と家族支援を行っている。	b
<コメント> 家族等とは面会時や夏祭りなどの行事への参加時に話をしている。年間行事予定を知らせて多数の参加がある。家族懇談会を開催しており、この度家族同士に職員も入っているような話をしたいとの声が家族等からあり、相談など家族支援にも繋がっている。			
A-3 発達支援			
A-3-(1) 発達支援			
16	A-3-(1)-①	子どもの障害の状況や発達過程等に応じた発達支援を行っている。	評価外
<コメント>			

内容評価細目の第三者評価結果 【障害者・児福祉サービス版】

A-4 就労支援

		第三者評価結果
A-4-(1) 就労支援		
17	A-4-(1)-① 利用者の働く力や可能性を尊重した就労支援を行っている。	評価外
	<コメント>	
18	A-4-(1)-② 利用者に応じて適切な仕事内容等となるように取組と配慮を行っている。	評価外
	<コメント>	
19	A-4-(1)-③ 職場開拓と就職活動の支援、定着支援等の取組や工夫を行っている。	評価外
	<コメント>	